



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

会長メッセージ

私事ですが、海外事業の買収を機にフランクフルトに駐在し、早いもので3年半が経ちました。

ドイツといえば、デュッセルドルフのほうが日本人にはなじみ深いかもかもしれませんが、フランクフルトも負けてはいません！ 欧州大陸のほぼ中央に位置し、金融、化学、通信などの中心として、またハブ空港所在地として、好調なドイツ経済を支えています。皆さんもご存知の欧州中央銀行があり、その一方でロマンチック街道の出発点として中世の面影を残す文豪ゲーテの

ゆかりの地でもあります。

フランクフルト稲門会は、他の海外稲門会に比べ、歴史的にも会員数の面でもいまだ発展途上です。縁あってフランクフルトに集う早稲田大学のOB・OGが横の連携を深め憩う場として、また日々ドイツ語と格闘しながらドイツ経済の一翼を担う会員同士が切磋琢磨する、そんな会として発展していきたいと思っています。

来たれ、フランクフルトに！ 集え、フランクフルト稲門会に！

杉山 尚(1991年法学)

会員からのメッセージ

1992年に10年間勤務した総合社を辞め、フランクフルトにあるドイツ系の銀行に転職。その銀行で数年間勤務したあと、起業。ドイツにおいて日系企業が成功するには優秀な現地スタッフを採用することが最も重要なことと考え、在独の日系企業向けの人材紹介会社を設立したのが99年。もともと一人で始めたこのビジネス、現在ではデュッセルドルフ、フランクフルト、ミュンヘンの各支店で総勢7名のキャリアコンサルタントが活躍してくれています。これまでの16年間に在独の日系企業500社余りに1,000名程の人材斡旋を行いました。今後ドイツで活躍する日系企業をサポートしていこうと考えています。

谷田和磨(1982年政経)

ドイツ企業に転職してから早5年。会社の先輩が早稲田出身で、お誘いを受けてフランクフルト稲門会に入会しました。左の写真は伊庭徹前幹事長(2000年政経)の掛け声のもと集まった有志と共に参加したフランクフルトマラソン大会のときのもの。一人10キロメートルほどを4人でリレーし全員無事完走(三田会チームにも完勝！)。その夜、稲門会でのドイツビールの味は格別でした。異国の地でも早稲田であることを強く実感できることは稲門会の醍醐味です。

大竹正海(2000年理工、2002年工研修)

金融都市フランクフルトから車で40分ほどのマインツに暮らしています。最近では日本代表選手が所属するMainz05というサッカーチームのおかげでご存じの方も多いかと思います。ライン川沿岸にある人口30万人弱の小さな州都ですが、5月から9月にかけて音楽祭、科学祭、異文化交流祭といろいろな催し物が開かれており、住む人を飽きさせません。

フランクフルト稲門会の活動には時々しか参加できていませんが、同じ場所、時間を共有した人々を温かく迎えてくれ、少しの間、時をさかのぼらせてくれる感じがします。またそのごんだ空気のなかでも刺激を与えてくれるのです。

桐山洋明(1997年社会学)

文化構想学部1期生として卒業し、2014年秋よりフランクフルトの現地法人で働き始めました。フランクフルトはドイツのなかでもとくにインターナショナルな都市で、他者を尊重する文化が根付いている住みやすいエリアです。また公私ともに効率と自己責任を求められる文化もあります。

ドイツに来て1年が経とうとしていますが、多国籍の友人、稲門会の方々の話を聞きながら日々新しいことを吸収する毎日です。ここで感じたことを具現化するために、日本に帰ったら「いろんな人がいて面白い」早稲田で再び学びたいと思います。

中村明日香(2011年文構)

フランクフルト稲門会について

フランクフルト稲門会は1993年10月に設立されました。主にヘッセン州のフランクフルトやラインラント＝プファルツ州のマインツなどから集まる会員は現在27名。定番の懇親会(飲み会)、マラソン大会出場、三田会との合同懇親会やゴルフ対抗戦など、異国に集う会員・関係者同士が情報交換を行い、交流を深める活動を行っています。集まり散じて人は変われど、異国の地で校友が気軽に集える良きプラットフォームとして、今後も会が発展していくことを願いながら、明るく楽しく活動しています。

谷口秀和(1998年政経)



懇親会

フランクフルトの魅力

商業都市として歴史のあるフランクフルトですが、自然に恵まれ緑がいっぱいという顔ももっています。

ちょっとした広場や道路脇など、至る所に木が植えられていて樹木が目に入らない場所がありません。市内にも大小たくさんの公園や緑地があります。オフィス街の緑地で野うさぎやリスが走っていても、誰も驚きません。市内北部の丘には小規模ながら市が所有するワイン畑まであります。

市内から少し足を伸ばせば山あり谷あり、ドイツの四季折々の景色を堪能できます。北に20分程度車で走ればタウヌス山地です。マイン川に平行するように約75キロメートルも続くタウヌス山地の森のなかには、ユネスコ世界遺産に登録されたローマ時代の遺跡や、昔の建物を集めた野外博物館もあります。森のなかには縦横に遊歩道が整備されていて手軽にハイキングを楽しめます。

タウヌス山地西南のライン川沿いは有名なワイン産地ラインガウ。北側を山に守られた比較的温暖な気候を生かし、急斜面にもワイン畑が広がります。東西南北豊かな自然に囲まれ、気軽に日帰り散策が楽しめます。

小川雪濃(1984年法学)



1.黄葉したワイン畑
2.秋のマイン川



マラソン完走!